

安全上の注意

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることを生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤスズリ、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けると
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付けると
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付けると
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること

注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
● 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起すおそれがあります

注意
● 取り扱いは必ず厚手の手袋をする
● ファンや部品の取り付けは確実に
● レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実に
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと

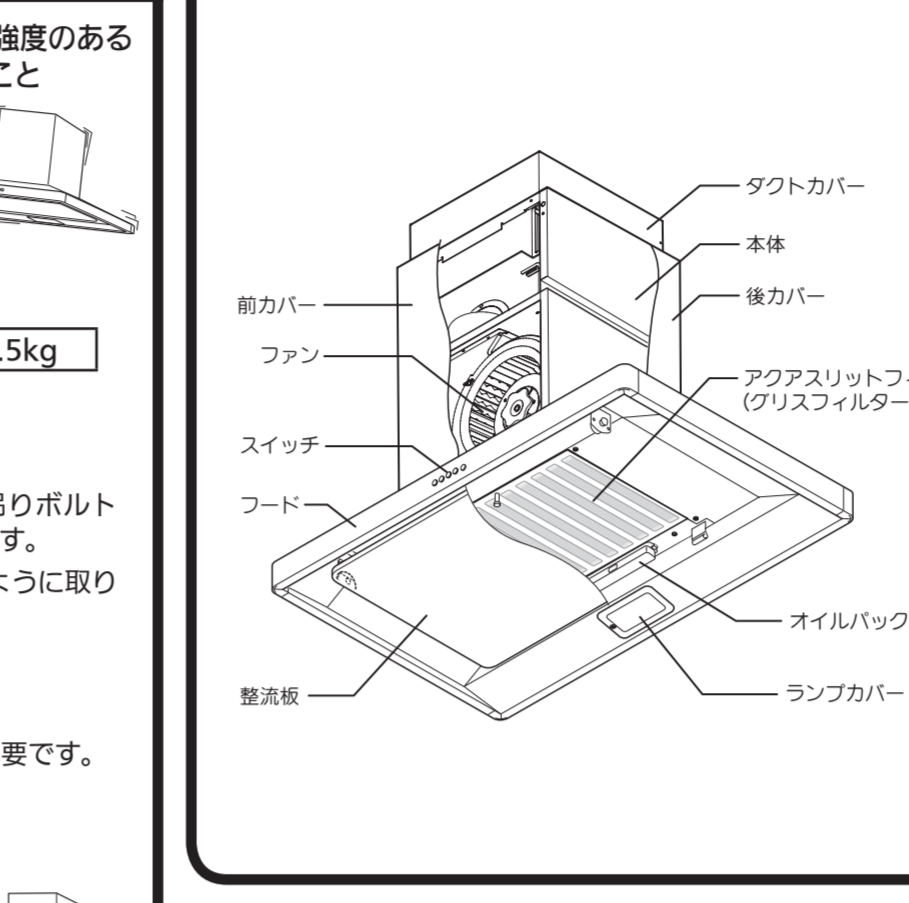
取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
● ダクトの不燃処理について
● 調理機器の壁はレンジフードの壁以内のものをご使用ください。
● 非常時に長いダクトや細いダクト、あるいは曲線に屈曲したダクトは排気効果をいじりやすく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
● 製品は調理機器の真上に取り付けください。
● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。

取り付け前の調査と準備

警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラッパ網など）と接触しないよう取り付けると
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 取り扱いは必ず厚手の手袋をする
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと

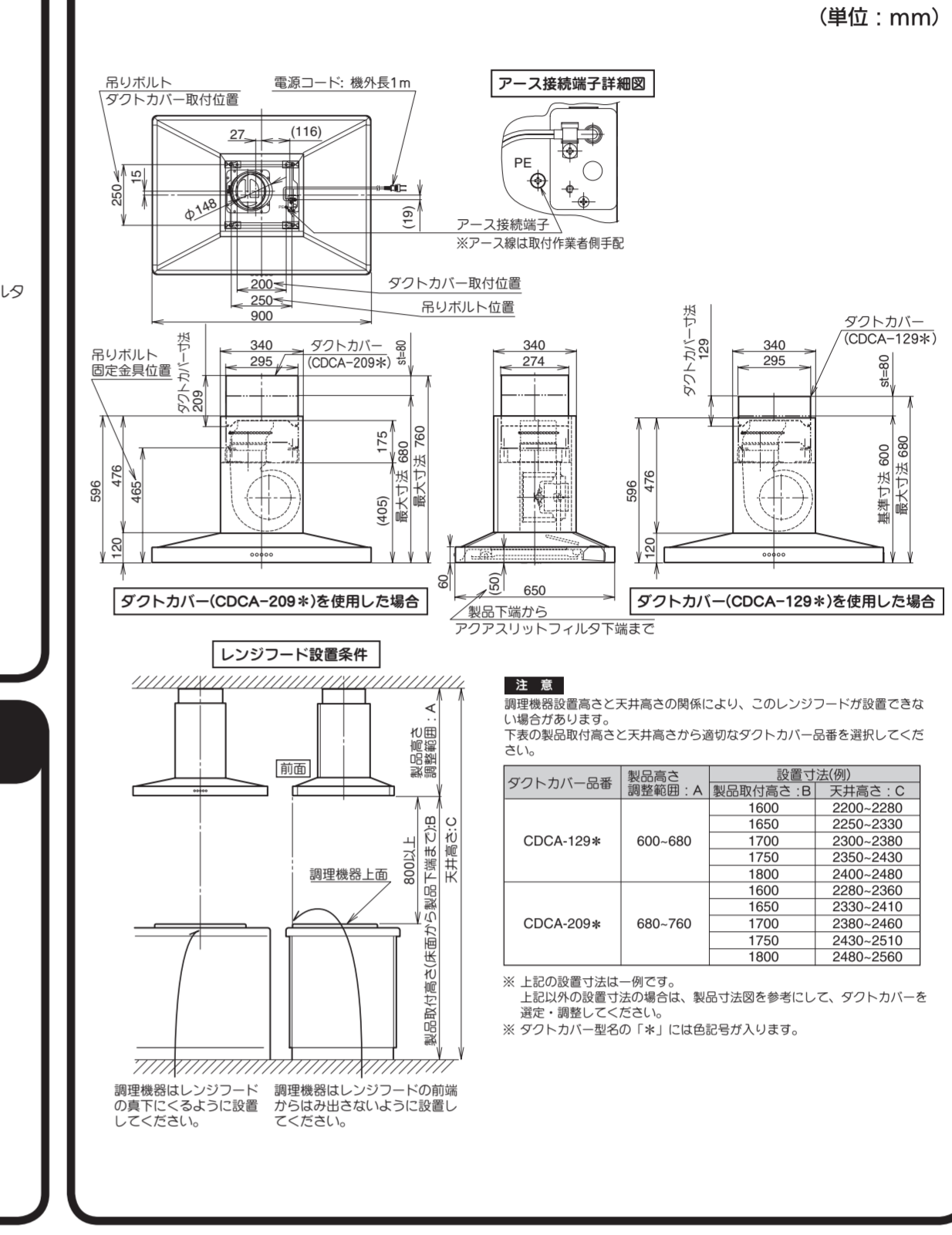
各部のなまえ



付属品

- トラスねじ (M4×10) 4本
ソフトテープ 1本
ダクト継手 1個

製品寸法図



取り付けかた

1. 付属品の確認

注意
● 取り扱いは必ず厚手の手袋をすること
● 作業は2人以上でおこなうこと
● 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
● 保護用のクッション材と固定テープは取付作業が完了するまでキズ・破損防止のためはずさないでください。

2. 取付準備

警告
● メタルスズリ、ワイヤスズリ、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルスズリ、ワイヤスズリ、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けると
● 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● 本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと

3. 本体の準備

● 本体の前カバー・後カバーをはずします。
● 排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。
● 天井面からのダクトの突き出し長さ(A)、および吊りボルトの突き出し長さ(B)は、製品高さ(調整範囲:600-760mm)により異なります。

2. レンジフードの天地を反転させます。

図3-3
図のように整流板が上になるようにしてレンジフードを置いて作業してください。

4. 整流板をはずします。

1) 整流板を固定しているテープを取り除きます。
2) 整流板の前面を固定している左右の突起を押し込みながら前後をゆくゆくと持ち上げ、ロックをはずします。
3) 整流板を10cm程度開いた状態で、整流板用金具から取りはずします。

5. アークスリットフィルタをはずします。

アークスリットフィルタのつとえを持ち、矢印の方向へ押し込みながら、やや上側へ引き出します。

6. フードと本体を分離します。

1) 取付ねじ4本(各2本)をはずします。
2) 電気配線のコネクタ2ヶ所をはずします。
● 取りはずしたねじは「4. 本体の取り付け」にて再度使用します。
● コネクタをはずす際は、ツメの部分を押しながら、まっすぐ引き抜いてください。

7. フードを取りはずします。

1) フードを前方へスライドさせて前後各2ヶ所のツメからはずします。
2) フードを上を持ち上げて本体からはずします。

4. 本体の取り付け

注意
● 本体の取り付けは十分な強度のあるところを選んで確実に
● コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。

1. レンジフードの固定位置を決めます。

1) 右図を参考に、次式によりマーカ位置(X)の値を算出してください。
X = 「製品高さ」 - 465
● 「製品高さ」寸法は、「使用するダクトカバー(別売部品)」、「製品取付高さ」および「天井高さ」によって異なります。

2. ダクトカバー(別売部品)を取り付けます。

ダクトカバーを座付ねじ4本で天井面に固定します。座付ねじはダクトカバーに付属しています。
● 取り付けは「7. 組み立て」にて再度使用します。
● 輸送用の固定テープがついているので、ソフトテープを貼る前に必ずはずしてください。

3. M12のナット(取付作業側手配)を吊りボルトのマーカ位置までねじ込みます。

取付完了時、調理機器上面から本体下面まで800mmにならない場合は調整してください。

4. ダクトにダクト継手を取り付けます。

付属品のダクト継手は、ダクトと本製品の排気口とを30mmオフセットして接続します。
1) 付属品のダクト継手の細い方をダクトに差し込みます。
2) 接合部へ風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこない、ダクト継手を固定します。

5. 本体を吊りボルトに固定します。

1) 本体を持ち上げて4ヶ所の吊り金具に吊りボルトを差し込み、吊り金具を挟み込むように吊りボルト側からM12のナット(取付作業側手配)をしっかり締め付けます。
2) 電源プラグを天井裏などのコンセントに差し込みます。
● アース(接地工事)を同時に必ずおこなってください。

6. ダクトカバーと本体を固定します。

付属品のトラスねじ4本で本体前後各2ヶ所を固定します。
● ダクトカバーの接続は確実にしてください。
● コネクタの接続は確実にしてください。

7. 本体を取り付けます。

1) 本体にフードを斜めに差し込み、フードのツメ(9ヶ所)を本体に引っ掛けて、前後を持ち上げます。
2) 「3. 本体の準備」手順6にてはずした取付ねじ4本(各2本)で前後および下部に固定します。
3) ツメが下になるようにしてコネクタ2ヶ所を差し込みます。

5. ダクトと排気用部品の接続

ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シヤッターを参照してドリリングタッピンねじ使用範囲以内に固定してください。
● 排気口設置時の風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。
● 排気口設置時の風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。

6. 電気配線

警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流100V以外では使用しないこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること

7. 組み立て

注意
● ファンや部品の取り付けは確実に
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になる所には取り付けないこと

8. 試運転

注意
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。

9. お客様への説明

● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
● 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

富士工業株式会社
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9
TEL 042(768)3754 (営業部)